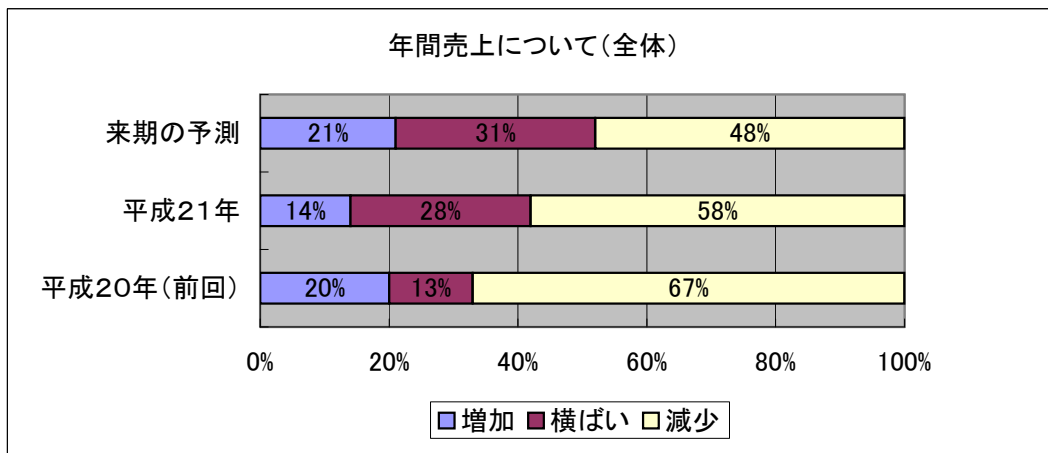
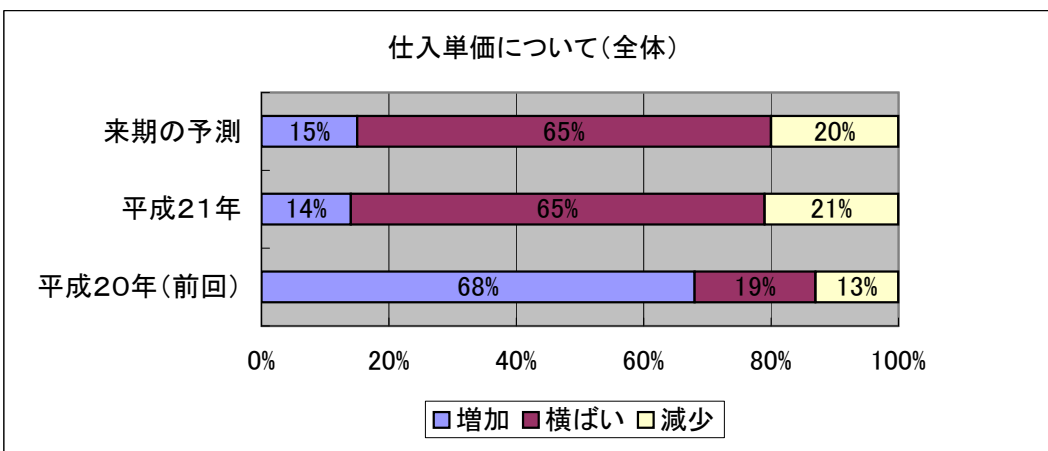


調査1
□経営状況



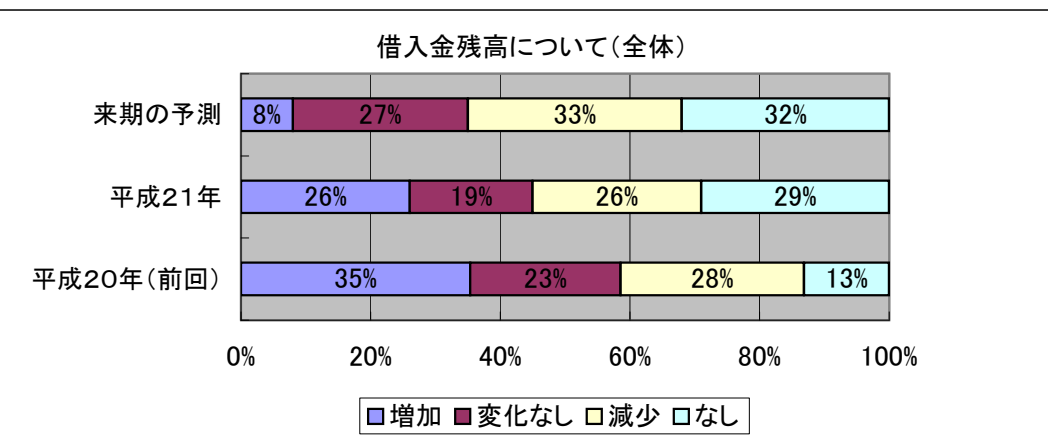
①年間売上について

平成20年の調査と比べると「減少」の数が減り、「横ばい」が増加している。来期予測については、若干改善の兆しがみられる。



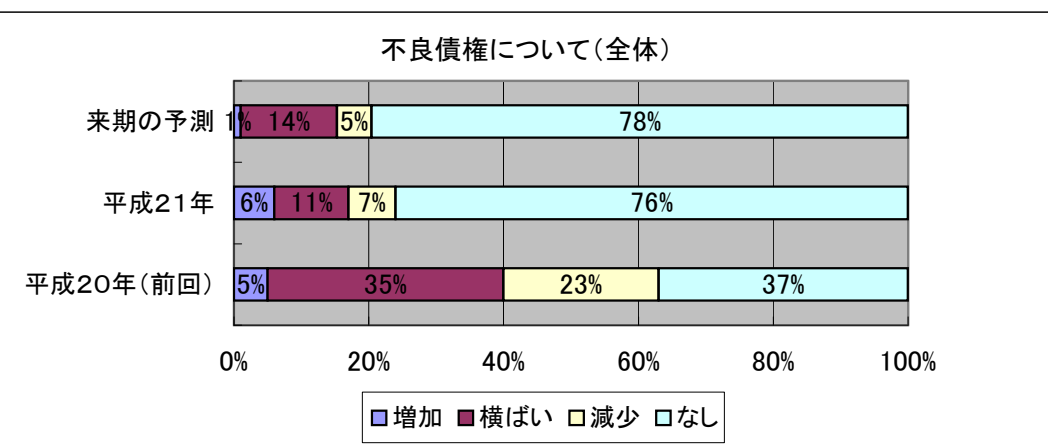
②仕入単価について

仕入単価は前回「増加」が68%と高かったが、今回は「横ばい」が65%と高く、仕入単価の変動は落ち着いている状況である。来期もほぼ「横ばい」を予測している。



③借入金残高について

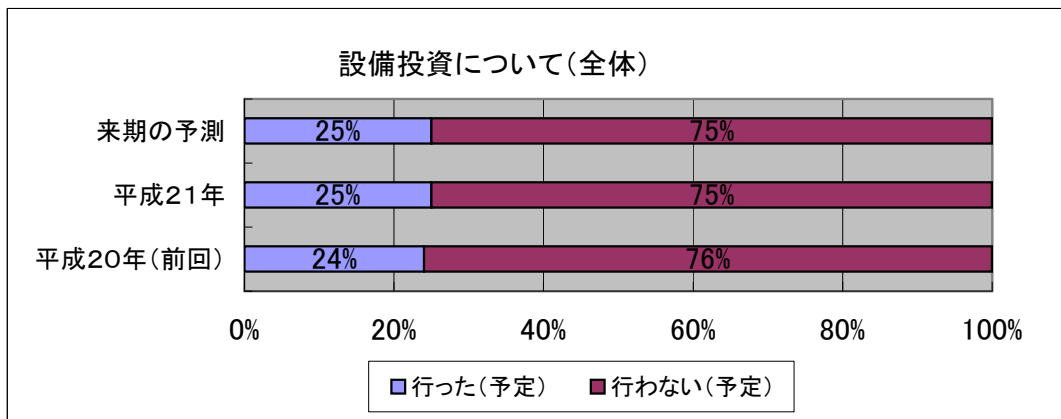
残高が「減少」及び借入れ「なし」の割合が大きくなっている。金融機関からの貸し渋りというよりも、資金需要の低下がその要因ではないかと考えられる。



④不良債権について

不良債権の「増加」が前回に比べ1%増えているが、全体的には減少傾向にある。

⑤設備投資について
 前回調査と変化はほとんどなく、25%の企業が設備投資を行っている。



⑥金融機関からの融資状況について
 前は「困難」が27%であったが、今回は9%と減少している。「融資なし」が増加している。「容易」も大きく増加している。

